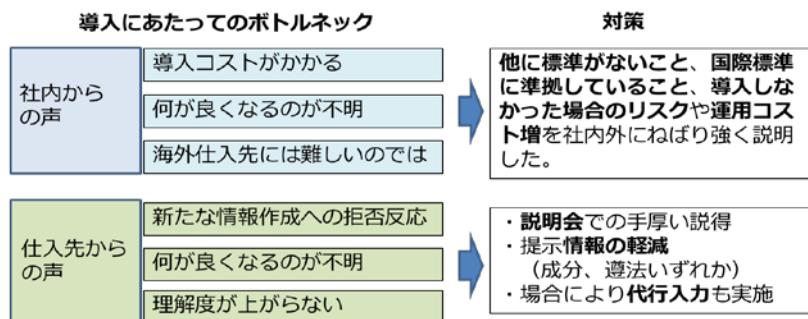


chemSHERPA 導入メリットアンケートの結果報告

2018年7月にJAMP委員会メンバーへ調査したchemSHERPA導入メリットアンケートの結果(サマリ)をご報告します。(回答22名)

①chemSHERPA導入時のボトルネックと対策について

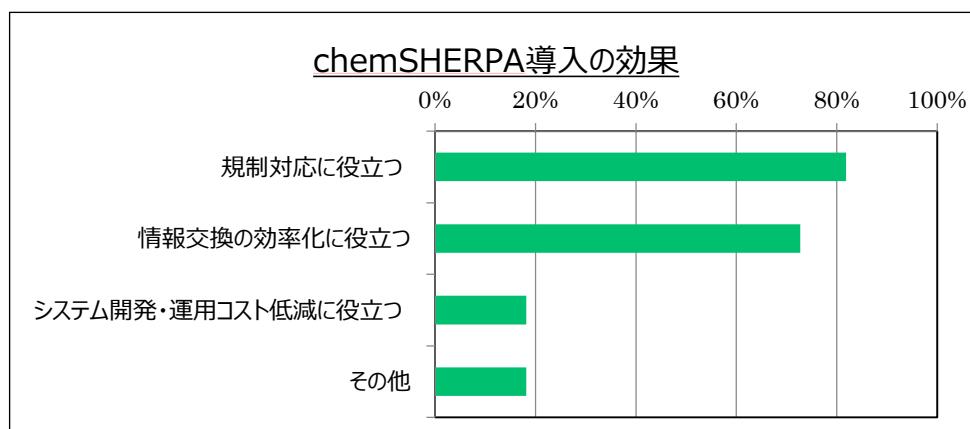
各社ともに、既存の標準フォーマットが切り替わることを粘り強く説明・説得を行うことで、社内外に理解をしてもらい、導入にこぎつけています。



②chemSHRRPA導入メリットについて

規制対応と情報交換の効率化のために、chemSHERPAを使う、という声が大半。

標準フォーマットを使うことで、システム開発コストが低減できるという声もあります。



③導入後の課題

海外普及を課題と捉える企業が多い。他にはツール・マニュアルの改善、遵法判断情報への物質追加、規制追加など。ヘルプデスクやITツールの紹介などJAMP支援を望むものや、業界拡大や海外ツールとの整合など、適用範囲を広げる要望もあります。

＜主な自由記述内容＞

- ①海外普及の促進、認知度向上、教育推進 6名
- ②ツール、マニュアルの改善 2名
- ③電機以外の業界への拡大 2名
- ④法規制物質アップデートの短縮化 2名
- ⑤遵法判断情報への物質追加 1名
- ⑥中小企業へのITツール紹介 1名
- ⑦国際標準への準拠性、海外ツールとの連携 1名
- ⑧サポート、ヘルプデスクの充実 1名